



2016-17 年度テーマ



■会長 竹葉 良仁
 ■幹事 竹田 米廣
 ■S A A 有田 裕彦
 ■クラブ奉仕委員長 田淵 満博

■職業奉仕委員長 茂呂 博光
 ■社会奉仕委員長 高瀬 一也
 ■国際奉仕委員長 保田 孝司
 ■青少年奉仕委員長 吉田 侑希

■例会日：毎週木曜日 12:30～13:30

■事務所 〒788-0003

■例会場：宿毛市幸町 秋沢ホテル

高知県宿毛市幸町 6-43

URL <http://www.gallery.ne.jp/~sukumorc/>

TEL 0880-63-3416

E-Mail sukumorc@mb.gallery.ne.jp

FAX 0880-63-3417

例会報告 第2540回 平成28年11月24日(木曜日) 天気：曇り

- 例会司会：有田 S A A
 ■開会点鐘：竹葉会長
 ■Rソング：奉仕の理想
 ■お客様：出口君男様(宿毛市教育長)

四つのテスト 言行はこれらに照らしてから

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

■会長報告 竹葉会長

やっと冬らしい天気になって来ました。
 関東では11月の積雪が54年ぶりに観測されました。
 急な寒さは体に応えます。数日前には福島を中心とした地震がありました。
 いつどこで地震が発生してもおかしくない断層が日本列島には沢山あります。いざという時にどのような行動をとるべきかを考えておく事が大事ではないかと思いました。

■幹事報告 竹田幹事

■ガバナー事務所より：
 12月のレートのお知らせ(1ドル=106円)
 R Y L A セミナーの報告書

欠席届 14名

■委員長報告

ゴルフ愛好会 西田幹事

11月23日四団体ゴルフコンペで残念ながら3位となりました。

青少年奉仕委員会 吉田委員長

12月1日(木)14時～ 平田保育園にて餅つきを行います。参加をお願いします。

■プログラム 保田企画委員長

出口君男様(宿毛市教育長)



今年4月より宿毛市教育長に就任。

本日は宿毛市の学校教育の現状と今後の方向についてお話をしたいと思います。
 市内に沖の島小学校含めて9校。沖の島小学校は一時休校になっていましたが若い方々が帰ってきて保育園を含めて9名の児童がいます。

小学生は4名ですが今後増えていきます。中学校は5校。

愛南町と共同で運用している篠山小学校と篠山中学校がありますが所管は愛南町となっています。

児童生徒数は宿毛市の人口が減少していますので児童生徒数も残念ながら減少しています。

今年5月1日時点で小学校の児童数が968名。中学校

の生徒数が484名。合計1452名となっています。
 10年前の平成18年では合計2056名。さらに10年前の平成8年では2687名。

この20年間で約1200名の児童生徒が減少している現状です。

これをうけて学校の適正規模、適正配置の観点からも学校の統廃合も進めています。

学校の望ましい規模は国の方でも一定の基準を示しています。一学年2クラス以上。いわゆるクラス分けが出来る事ですが宿毛市の現状では2クラス編成が出来る学校は宿毛小学校、咸陽小学校、宿毛中学校、片島中学校の4校となっています。

一クラスの生徒数の基準は40人となっています。但し小学校1年生、中学校1年生は30人となっています。

高知県では小学校2年生は35人となっています。教育効果、学級運営において一クラス20人が最も望ましいのではないかと考えていますが現状では10名、8名の学校も多くあります。さらには複式学級の形をとらなくてはならない学校もあります。

複式学級は1名の先生が2学年を受け持つ形です。教育委員会として複式学級は望ましくないと考えています。一定の規模の中で身に付ける社会性とか多くの仲間の中で切磋琢磨する中で培っていける能力等を身に付ける事が大切と考えています。

これらをふまえて教育委員会として学校の再編成計画の中に基本方針として複式学級を解消したいと大きな方針の一つとしています。

現在再編成計画ではいつまでどの学校を統合とは具体案としてはありませんが複式学級の解消と20人のクラスが望ましいと基本にしています。

学校の再編については保護者や地域の方々の思いが強く地域によっては学校が一つのシンボルとなっている場合があります。単純に教育効果だけではご理解いただけませんが、教育委員会としては次代を担う子供達にとってどういった環境が望ましいかという視点で学校編成について考えて来ましたし、これからも取り組んでいかなければと考えています。

宿毛小学校の立て替えについても市長が説明会を開催し、今後も出来るだけ多くの方の意見を聞きたいと説明会を予定していますが、10年来の課題となっていますので一定の結論を出して行きたいと考えています。平成21年度から平成24年度に教育次長として教育行政に携わりましたが中学校が大変な時期でした。

様々な課題があり特に大きな課題は生徒指導上の問題。授業は成立しない。授業に参加する事ができない。現場の先生だけでは解決できない。

退職した校長先生や地域の中で積極的に教育に取り組んでいる方を学校に派遣し、先生をサポートし、問題行動を起こす生徒に直接指導等を行い、家庭訪問を通じ父兄と一緒に取り組んで来ました。

色々な地道な取り組みによって改善され、現在では落ち着いた授業が行われています。

学力も上がり小中学校ともに全国平均を超えています。

この状況を維持し、さらに上を目指して取り組んでいる所です。

県教委の指導のもと防災教育、キャリア教育等に積極的に取り組んでいます。生徒みずからPR用のVTRを作成。避難看板を作成・設置を行い防災啓発に取り組んでいます。

片島中学校が科学の甲子園ジュニアで高知県大会で教育長賞を受賞し全国大会へ2年連続出場。東中学校が高知県算数数学思考オリンピックで教育長賞を受賞。小筑紫小学校が金賞。宿毛中学校2グループが入賞。

子ども達によりよい教育を提供するのは現場の先生だと思っています。先生方が教育のプロフェッショナルとして常に努力をし教育に対する情熱、愛情を子ども達そそぐ。校長・教頭先生はその先生方が仕事をしやすくする事。教育委員会は環境づくりをすることが最大の役目だと思っています。

先生方は頑張っていますが非常に過酷な状況になっているのが事実です。様々な業務もこなしていかなければなりません。地域や保護者との良好な関係作りもしなければなりません。肉体的精神的にも負荷がかかっています。教育委員会としても先生方の力が子供達に向けられるような環境を作っていかなければと思います。

県教育委員会の基本計画の中で、チーム学校。

厳しい環境にある子供達の支援。地域との連携共同の大きな3つのテーマとしています。

地域の方々が先生に変わって出来ることは積極的に参加していただく環境をつくっていきたいと思います。

今後の宿毛市の教育については、急速な情報化やグローバル化が進展し、さらに少子高齢化が進み人口減少が全国的に大きな課題となっています。非常にめまぐるしく変化しています。

次代を担う子供達に求められる資質や能力は時代とともに変化しています。

今後さらに進展するであろうグローバル化の進展を見据える中で、国際社会の中で生き抜ける子どもを育成することを私達に求められています。その為に、宿毛市の子供達が社会に出ていった時、様々な問題に直面した時、自らしっかりと考えて判断をし、自分の考えを相手に伝え理解をさせ、そういったスキルや学力をしっかりと身に付けさせるとともに、社会のため自分がどういった事が出来るのかを考えられる人材の育成をしたいと考えています。

宿毛市教育振興計画の大きなテーマとして、21世紀を心豊かに生き抜くことが出来る子どもの育成を柱にしています。

平成32年度から小学校、平成33年度から中学校において新しい学習指導要領に基づく教育がスタートします。この新しい学習指導は、来年3月には国から示される予定となっています。

大きな柱として、どのように学ぶか。何が出来るようになるか。アクティブラーニングの指導を柱としています。自ら考え発見をし、話し合い方向性を見出す。

これまでの教育は先生が知識を植え付けることでしたが、自ら課題を見つけ学んで行く方向となります。

現在では小学校5、6年生が英語教育の対象でしたが3、

4年生から英語教育が始まります。

英語教育の充実を図りたいと考えています。

就学前の子供たちを対象に英語に親しむ取組を考えています。図書館で毎週絵本の読み聞かせをボランティアの方々を中心に行っていますが、その英語版を考えています。

英語の絵本の読み聞かせを行いたいと思っています。皆様から協力していただける人材をお願いしたいと思います。

宿毛市は明治維新から素晴らしい人材を輩出しています。子ども達が将来の宿毛市、高知県、日本をリード出来る人材を育成したいと大きな夢を持っています。皆様のより一層のご理解とご支援をいただければと思います。本日はありがとうございました。

■出席報告

65.52%

有田SAA

本日よりピアノ伴奏でのロータリーソング斉唱です。

